

新小山市市民病院ニュースレター Shin-oyama City Hospital News letter No.4

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶

☆地域医療支援病院、臨床研修病院を目指して☆

地方独立行政法人 新小山市市民病院の初年度が間もなく終わろうとしています。特に病院経営面では、単年度黒字化を目指して努力してきましたので、その成果を次号のニュースレターでお伝えできと思います。

いよいよ新病院建設の起工式が3月24日に行われますが、新病院に移転する頃までに、本院の達成すべき目標が二つあります。1つが**地域医療支援病院**、そしてもう1つが**臨床研修病院**の指定を受けることです。

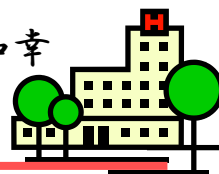
地域医療支援病院の主な要件として、①紹介率65%・逆紹介率70%、②救急搬送数年間1000件をクリアする必要があります。栃木県内には、日赤や下都賀総合病院など7つの公的病院が現在指定を受けていますが、小山地区には一つも有りません。本院は、救急搬送件数ではクリアできますが、紹介率・逆紹介率が40%前後に留まっていることから、これらを上げるべく、様々なアクションプランを実行していますので、医師会の皆さまには、是非患者さんをご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。また、皆さまへの逆紹介を促進するため、「地域医療連携医療機関情報カード」を院内に掲示して、患者さんたちに「かかりつけ医」の情報提供を行っています。新小山市市民病院の地域連携協力施設にご協力いただいている施設で未だの場合は、是非ご提出いただければ幸いです。

臨床研修病院の指定を受けるためには、①研修の実績、②病理解剖の実績があることが要件になっています。病理解剖は、既に自治医大の協力を得て実施できました。また、4月からは、自治医大の地域医療教育センターが新小山市市民病院に設置されることになり、本院において総合診療の学生教育、そして、近い将来には、初期・後期研修が開始されることになりました。昨年、秋葉原で開催された「小山をモデルにした地域医療フォーラム」での提言が、見事に実現した訳です。将来、本院に全国から研修医が訪れる日を夢見て、本プロジェクトを大事に育てていきたいと考えています。

今後とも小山の地域完結型医療を皆様とともに育てていきたいと思っています。

平成26年3月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸



主なトピックス

☆DPC病院に移行します☆

従来の入院診療費は、診療行為ごとの点数をもとに計算する「出来高払い方式」で請求してきましたが、4月から、病名や治療の内容に応じて分類される「包括医療費支払い制度方式（DPC）」の新たな計算方式により医療費を計算します。なお、患者さんの支払い方法は基本的には変わりません。



☆地域医療連携システム NEC ID-Link 導入☆

当院は、効率的でより質の高い地域完結型医療を積極的に行います。その一環として、「とちまるネット」に参加する為、地域医療連携システムのNEC ID-Linkを導入し、3月から稼働しています。

ID-Linkの導入により、インターネットを利用した診療情報の公開が可能となりました。当院で公開する資料情報は以下になります。

- ・患者基本情報
- ・入退院実施
- ・処方
- ・注射
- ・アレルギー情報の登録／更新
- ・病名（歴）情報の登録／更新
- ・検体検査
- ・生理検査
- ・放射線画像

ID-Link
画面イメージ

2010	05/11(火)	05/12(水)	05/13(木)	05/14(金)	05/15(土)
期 間					
処 方					
注 射					
検 査					
画 像					
レポ-ト					
健 診					
ノ-ト					

診療科からのメッセージ



診療科紹介 耳鼻咽喉科

現在、耳鼻咽喉科は、常勤医 1 人での診療体制となっております。ここ数年は、耳鼻咽喉科専門医を自治医科大学耳鼻咽喉科医局から 1 年おきに交代で派遣しております。平成 25 年 9 月からは、お隣は栃木市出身の川田が担当させていただいております。

まず、外来診療についてですが、午前中は初診再診を含めた一般外来を行っております。診療は幅広く、軽度のアレルギー性鼻炎から喉頭癌などの悪性腫瘍まで、耳鼻咽喉科疾患については一通りの診察を行います。ただし、月・水は手術日のため、大学医局からの医師を日替わりで診察応援いただいております。常勤医の診察ではありませんが、診療内容は特に変わりません。午後の外来診療は、診療に時間を要する患者様のために、特別予約制としております。その診療内容は、エコー検査や組織生検、鼻出血後のガーゼ抜去などの処置、術前診察および手術説明などがあげられます。

月曜日 1 日と水曜日半日は、手術枠をいただいております。耳鼻咽喉科は、耳・鼻・咽頭・喉頭・頸部と守備範囲が広く、一口に耳鼻咽喉科専門医といっても、どの分野を専門とするかで各医師の得意分野が異なります。現在は、耳鼻咽喉科で当初より習得できる鼻内内視鏡下手術・口蓋扁桃摘出術などに加え、大学病院勤務時代に専門としていた頭頸部腫瘍（頸部や唾液腺の良性腫瘍）を主体に手術を行っております。悪性腫瘍や中耳手術は、基本的には大学病院へ紹介させていただいております。

当科の役割は、ちょうど「開業医院と大学病院の間」、といった表現がふさわしく、開業医院にとっては少し厄介な継続的処置が必要なケースや、数日の入院加療が必要なケース、かといって大学病院での集学的治療までは不要なケース、と言ういわゆる中等症の患者様を主体に請け負うことが主な任務と心得ております。具体的には、急性感音難聴に対するステロイド治療（糖尿病など合併症あり）や、嚥下困難な急性扁桃炎・急性喉頭蓋炎、切開排膿が必要な扁桃周囲膿瘍、処置が必要な急性副鼻腔炎・急性化膿性中耳炎などの入院治療が良い適応です。特にこれらの疾患は、働き盛り世代の方が無理をしてやや重篤化してから受診することが多く、その反面、短期入院での加療は早期社会復帰を可能にするという意味で、市民病院として有益な社会貢献ができていると感じております。

耳鼻咽喉科は、処置も多く、また小児の診察などもあり、慌ただしい雰囲気になってしまうことや、患者様をお待たせすることもあると思います。しかしながら、受付事務・看護師とともに良好なチーム医療を構築できていると自負しております。今後もチーム力を充実させ、「ゆっくり早い」診療を心がけて行きたいと考えております。例えたった 5 分間の診療でも、患者様が「来てよかった」と、まるで一流ホテルを訪れた後の余韻にも似た印象を抱けるような、毅然かつ紳士的な診察ができれば無上の喜びです。今後も暖かく見守っていただけると幸いです。よろしくお願い致します。

新任医師からのご挨拶

☆☆ 1 月 1 日より新しい先生方が着任されました ☆☆

この度、平成 26 年 1 月 1 日より、自治医大心臓血管外科より常勤で派遣されました佐藤弘隆と申します。前任者の村岡に引き継ぎ、下肢静脈瘤手術や末梢動脈疾患、腹部大動脈瘤に関しましても当院での治療をおこなっております。自治医大とのバックアップ体制も整っており、できる限りの満足度の高い治療を心がけております。

自治医大での手術件数も増加の一途をたどっており、手術までの待機期間が長くなっております。当院では早期の手術が可能ですので、末梢動脈疾患の患者様や腹部大動脈瘤の患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介をいただきたく存じます。

また、**急性動脈閉塞の救急対応、治療も始めました**ので、いつでもご連絡ください。その他お困りの心臓血管外科疾患につきましてもいつでもご連絡ください。誠心誠意対応させていただく所存です。

今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

心臓血管外科科長心得

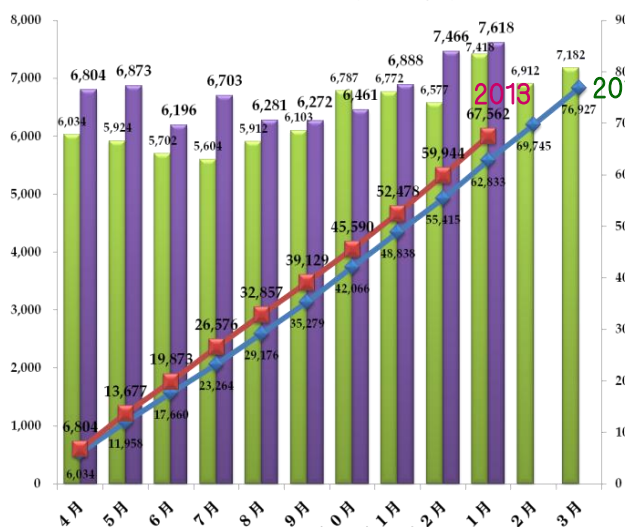
佐藤 弘隆



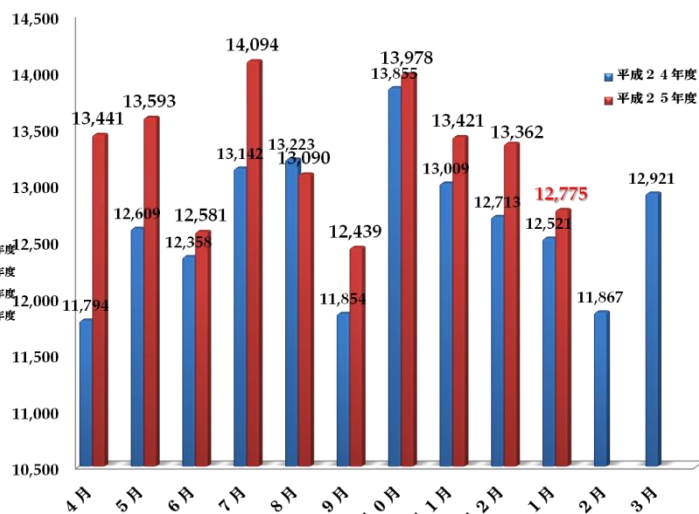
※ 来月 4 月から、総合診療科医師、糖尿病医師、呼吸器内科医師、小児科医師も増員の予定になっております。詳しくは、ホームページをご覧くださいませようお願い致します。次号でご紹介させていただきます。

新小山市民病院の診療実績

月延在院患者数

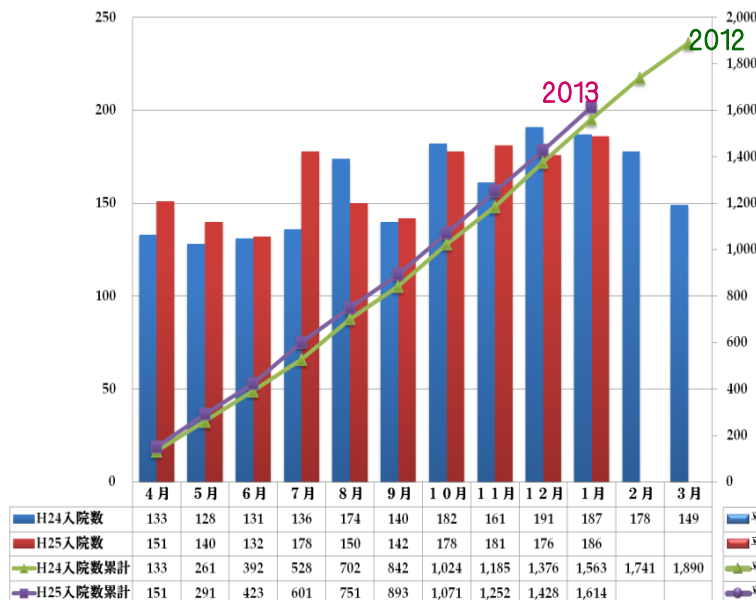


外来患者数

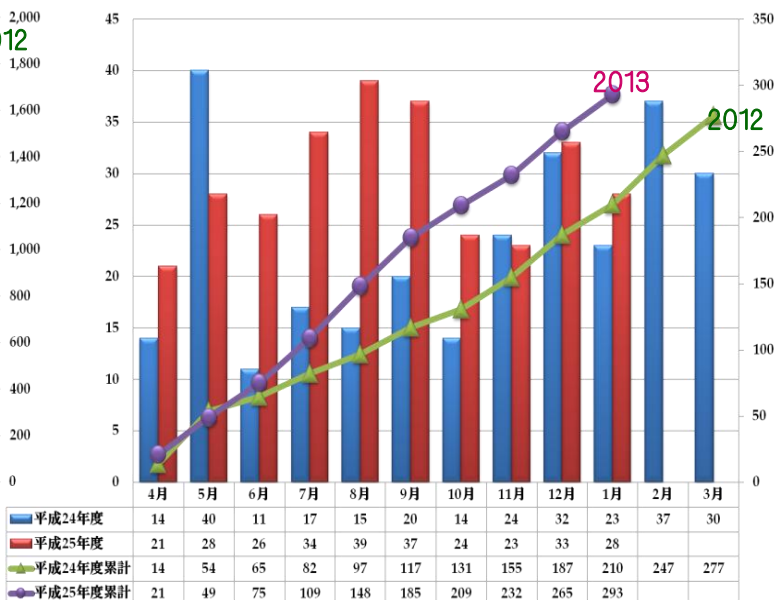


入院患者数は、昨年に比較し3%増加、外来患者数も4%増加しました。

救急からの入院患者数

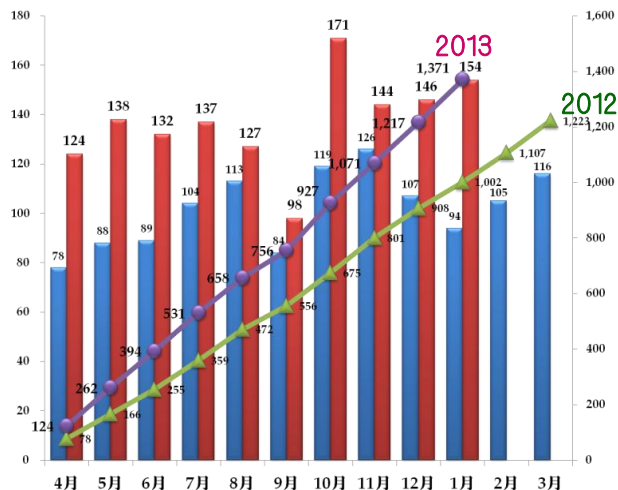


小山地区夜間休日急患センターからの紹介件数

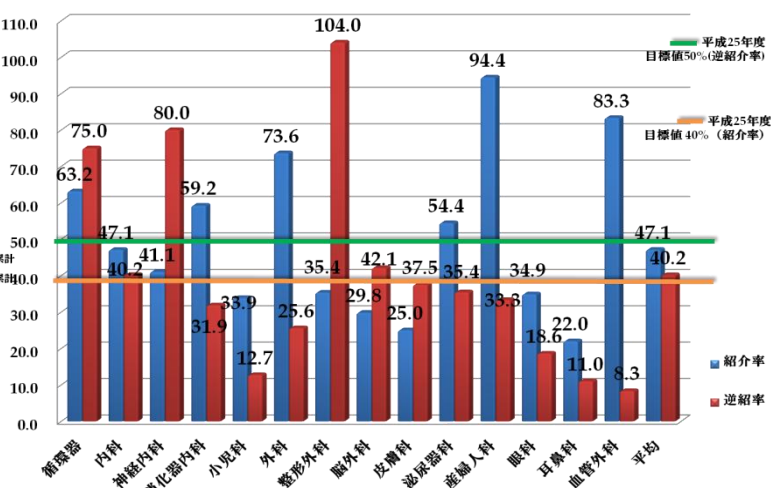


救急患者総数は昨年同様ですが、救急入院患者数や夜間休日急患センターからの紹介数が増加しました。

手術件数



平成25年度 1月 紹介率・逆紹介率



手術件数は、昨年に比較し37%増加しました。しかし、紹介率・逆紹介率は未だ目標値に達していません。

新小山市民病院での取り組み

地域連携医療機関情報コーナー

当院からの紹介や患者さんから近医受診の相談を受けた際に、医療機関の情報カードを参考にさせていただいております。来院された患者さんやご家族の方に自由にお持ち帰りいただいております。まだまだ掲示するスペースがあります。ぜひ情報カードをお寄せ下さい。また、情報カードを連携室で作成し、先生方にご承諾いただき、掲示することも検討しております。よろしくお願いいたします。

診療情報提供書（紹介状・報告書）

(新小山市民病院用)

平成 年 月 日

新小山市民病院

科

先生宛

医療機関名
所在地
診療科
電話番号
FAX
医師氏名

印

患者氏名 性別 男・女
生年月日 明・大・昭・平 年 月 日 (歳) 職業

病 名

紹介目的 依頼(検査・診療・治療) ・ 報告(初回・中間・最終)

既往歴及び家族歴

症状経過及び検査結果

治療経過

現在の病状

備 考

備 考
1. 必要がある場合には詳細に記述の上、添付してください。
2. 必要がある場合には関係機関のフォーム、検査の結果の添付をお願いします。

【診療情報提供書】



患者さんに好評で、
毎日職員が補充しています。

医療機関名

◇ 所在地 _____

◇ 電話 _____

◇ FAX _____

◇ Homepage _____

◇ 院長名 _____

◇ 地図 _____

院長先生の写真
or グラフィックの写真
両方でも可
写真を添付してください

こちらで作成します

◇ 診療科目

◇ 診療時間

診療時間	午前	午後
月		
火		
水		
木		
金		
土		
日		
祝日		

他の休診日 _____

◇ コメント

専門科目、得意分野、患者様ご対応したいサービス等

【情報カード】

地域完結型医療を育てる会

小山地区医師会と製薬会社と当院との共催で毎月開催しております。

顔を合わせることで当院と連携開業医との信頼関係を築くこと、より良い地域医療を目指すことを目的に始めました。診療科ごとに Face To Face の連携研究会を行うことで、積極的に医局員や専門分野・診療実績の紹介を行っております。

平成25年度4月より開始し、第11回まで終了しております。3月は整形外科の発表を予定しており、来年度も引き続き開催予定です。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

新小山市民病院は、平成25年度4月より、独法化や新病院の建設へと進めてまいりました。そして、名実共に診療の実績を皆様にお伝えできるよう、取り組んでまいりました。

今後も地域の中核病院として機能を果たす為に小山地区医師会の先生方をはじめ、地域の医療関係者のますますのご支援、ご協力をいただけますようお願い致します。

医療連携相談室

(受付時間 平日8:30～17:15)

医療連携に関する業務

- ① 紹介患者さんに関する事務
- ② 地域の医療機関からの紹介患者さんの診察や検査予約の受付
- ③ 地域医療機関訪問
- ④ 「新小山市民病院診療科案内」などの作成と発送

患者さん・御家族に関する相談業務

- ① 適切な医療機関や福祉施設などの紹介
- ② 在宅医療や訪問看護に向けての調整
- ③ 医療費などの経済的問題の相談
- ④ 介護保険や身体障害者手帳などの制度の紹介や利用の相談 など

医療連携室

TEL 0285-21-3849

医療相談室

TEL 0285-21-3865

FAX 0285-21-3896(連携室・相談室共通)

※メールでも受付しております。

医療連携相談室 renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

